

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所
施設検査成績書

原子力規制委員会

施設検査成績書

申請者及び事業所名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所		
検査範囲	別紙-1のとおり		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第三開発室 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地33		
申請年月日及び 申請番号	令和2年3月19日 令01原機(P)013		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
材料検査	令和2年8月6日	良	別紙-2及び別紙-3のとおり
寸法検査	令和2年8月6日	良	別紙-4及び別紙-5のとおり
据付・外観検査	令和2年8月6日	良	別紙-6及び別紙-7のとおり
	令和2年8月31日	良	別紙-8及び別紙-9のとおり
配置・外観検査	令和2年8月6日	良	別紙-10及び別紙-11のとおり
性能検査(密閉構造)	令和2年8月7日	良	別紙-12及び別紙-13のとおり
性能検査(負圧維持)	令和2年8月31日	良	別紙-14及び別紙-15のとおり
性能検査(グローブボックス内温度上昇警報及びハロゲン化物消火設備)	令和2年8月7日	良	別紙-16及び別紙-17のとおり
性能検査(グローブボックス負圧警報)	令和2年8月7日	良	別紙-18及び別紙-19のとおり
性能検査(排気フィルタ)	令和2年8月31日	良	別紙-20及び別紙-21のとおり
原子力検査官	令和2年8月6~7日 大和田博幸 環境教官 千葉正之	令和2年8月31日 早川孝也 佐山洋	
検査立会責任者 (役職名)	令和2年8月6~7日 品質管理課長	令和2年8月31日 品質管理課長	
備考			

○検査範囲

プルトニウム燃料第三開発室のうち、

使用施設の位置、構造及び設備のうち、

使用施設の設備のうち、

検査工程設備のうち、

金属不純物分析設備のうち、

①グローブボックスNo. FQG-19

②分光分析装置

③マイクロ波溶解装置

安全管理設備のうち、

消火設備のうち

④グローブボックス内消火設備 ハロゲン化物消火設備（グローブ
ボックスNo. FQG-19用）

警報装置のうち、

⑤グローブボックス内温度上昇警報（グローブボックスNo. FQG-19
用）

⑥グローブボックス負圧警報（グローブボックスNo. FQG-19用）

廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、

気体廃棄施設の設備のうち

気体廃棄設備のうち、

⑦排気フィルタ（グローブボックスNo. FQG-19用）

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和2年8月6日

検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：材料検査

検査範囲	<p style="text-align: center;">プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19 分光分析装置</p>		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備 考：			

材 料 検 査 記 録

検査年月日：令和2年8月6日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	<p style="text-align: center;">プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19 分光分析装置</p>		
判定基準	結果	検査方法	
(1) グローブボックスNo. FQG-19の主要部材の材料及び分光分析装置の固定ボルトの材料が施設検査申請書のとおりであること。	良	記録	
(2) グローブボックスNo. FQG-19の遮蔽体の物性値が施設検査申請書のとおりであること。	良	記録	
<p>備考：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和2年8月6日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：寸法検査

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19 分光分析装置		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

寸法検査記録

検査年月日：令和2年8月6日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	<p>プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックス No. FQG-19 分光分析装置</p>		
判定基準	結果	検査方法	
(1) グローブボックスNo.FQG-19の固定ボルトの間隔が1060mm以上で、呼び径がM12であること。	良	記録	
(2) 分光分析装置の固定ボルトの間隔が176mm以上で、呼び径がM12であること。	良	記録	
(3) グローブボックスNo.FQG-19外の溢水に対して、グローブボックスNo.FQG-19の設置高さが床面より、0.05m以上であること及びグローブボックスNo.FQG-19内溢水に対して、ハロゲン化物消火設備の噴射ヘッドの設置高さがグローブボックスNo.FQG-19底板より、0.02m以上であること。	良	記録	
(4) グローブボックスNo. FQG-19の遮蔽体の厚さが8.5mm以上であること。	良	記録	
<p>備考：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和2年 8 月 6 日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：据付・外観検査

検査範囲	<p>プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19 分光分析装置 安全管理設備のうち、 消火設備のうち グローブボックス内消火設備 ハロゲン化物消 火設備（グローブボックスNo. FQG-19用）</p>	
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録
備 考：		

据 付 ・ 外 観 検 査 記 録

検査年月日： 令和2年8月6日

検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	<p>プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19 分光分析装置 安全管理設備のうち、 消火設備のうち グローブボックス内消火設備　ハロゲン化物 消火設備（グローブボックス No. FQG-19 用）</p>		
判 定 基 準	結 果	検 査 方 法	
(1) グローブボックスNo. FQG-19にハロゲン化物消火設備の噴射ヘッドが設置され、外観に有害な傷、変形等がないこと及び施設検査申請書のとおり据付けられていること。	良	立会	
(2) グローブボックスNo. FQG-19及び分光分析装置の外観に有害な傷、変形等がないこと及び施設検査申請書のとおり据付けられていること。	良	立会	
<p>備 考：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和2年8月21日

検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目： 据付・外観検査

検査範囲	<p style="text-align: center;">プルトニウム燃料第三開発室のうち、 廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、 気体廃棄施設の設備のうち 気体廃棄設備のうち、 排気フィルタ（グローブボックスNo. FQG-19用）</p>		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備 考：			

据 付 ・ 外 観 検 査 記 録

検査年月日：令和2年8月31日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、 気体廃棄施設の設備のうち 気体廃棄設備のうち、 排気フィルタ（グローブボックスNo. FQG-19用）		
判定基準	結果	検査方法	
排気フィルタ（グローブボックスNo. FQG-19用） の外観に有害な傷、変形等がないこと及び施設検査 申請書のとおり据付られていること。	良	立会	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和2年 8月 6日

検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目： 配置・外観検査

検査範囲	<p style="text-align: center;">プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 マイクロ波溶解装置</p>		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備 考：			

配置・外観検査記録

検査年月日：令和2年8月6日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 マイクロ波溶解装置		
判定基準	結果	検査方法	
グローブボックスNo. FQG-19内にマイクロ波溶解装置が配置され、外観に有害な傷、変形等がないこと。	良	立会	
備考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和2年 8 月 7 日
 検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：性能検査（密閉構造）

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

性能検査（密閉構造）検査記録

検査年月日：令和2年8月7日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19		
判定基準	結果	検査方法	
リーク率が-0.02~0.08%/hであること。（ここで、%は体積分率を示す。）	良	立会	
備考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 ・立会検査で使用した検査用計器を別紙-22に示す。 リーク率計算結果 <u>0.01</u> %/h（ここで、%は体積分率を示す。）			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和2年 8月 31日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：性能検査（負圧維持）

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

性能検査（負圧維持）検査記録

検査年月日：令和2年8月31日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 検査工程設備のうち、 金属不純物分析設備のうち、 グローブボックスNo. FQG-19		
判定基準	結果	検査方法	
グローブボックスNo.FQG-19の差圧計の指示値（当該グローブボックスが設置されている分析物性室（FQ-201）に対する差圧計の指示値）が、 $300 \pm 50 \text{Pa}$ （ $30 \pm 5 \text{mmH}_2\text{O}$ ）であること。	良	立会	
<p>備考：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 ・立会検査で使用した検査用計器を別紙-22に示す。 <p>立会検査時の値 <u>300 Pa</u></p>			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和2年 8 月 7 日
 検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：性能検査（グローブボックス内温度上昇警報及びハロゲン化物消火設備）

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 安全管理設備のうち、 消火設備のうち グローブボックス内消火設備　ハロゲン化物消 火設備（グローブボックスNo. FQG-19用） 警報装置のうち、 グローブボックス内温度上昇警報（グローブボ ックスNo. FQG-19用）		
確 認 事 項	結果	確認方法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
備 考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

性能検査（グローブボックス内温度上昇警報及びハロゲン化物消火設備）検査記録

検査年月日： 令和2年8月7日
 検査場所： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	<p>プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 安全管理設備のうち、 消火設備のうち、 グローブボックス内消火設備　ハロゲン化物 消火設備（グローブボックスNo. FQG-19用） 警報設備のうち、 グローブボックス内温度上昇警報（グローブ ボックス No. FQG-19 用）</p>	
判定基準	結果	検査方法
<p>(1) グローブボックスNo.FQG-19内に設置されている白金 測温抵抗体を抜き出し、約56℃に維持した恒温槽に入れ、恒温槽の温度を徐々に上げていき、恒温槽の温度が設定範囲（警報設定値58℃に対し、誤差を考慮した57℃以上59℃以下）に達した上で、No.FQG-19内に設置されている差動分布型感熱部（温度上昇率15℃/分で作動）を加熱器により加熱した時に、警報表示灯及び警報音が作動すること。</p>	良	立会
<p>(2) グローブボックス内温度上昇の警報が作動した時に、 ハロゲン化物消火設備の起動用ガス容器弁を開放（膜破壊）するためのピンが飛び出すこと。</p>	良	立会
<p>備考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 ・立会検査で使用した検査用計器を別紙-22に示す。</p>		

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日： 令和2年 8月 7日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：性能検査（グローブボックス負圧警報）

検査範囲	<p style="text-align: center;">プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 安全管理設備のうち、 警報装置のうち、 グローブボックス負圧警報（グローブボックス No. FQG-19用）</p>		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
(3) 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	良	記録	
<p>備 考：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 			

性能検査（グローブボックス負圧警報）検査記録

検査年月日：令和2年8月7日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 使用施設の位置、構造及び設備のうち、 使用施設の設備のうち、 安全管理設備のうち、 警報設備のうち、 グローブボックス負圧警報（グローブボックス No. FQG-19 用）		
判定基準		結果	検査方法
グローブボックスNo.FQG-19 内の負圧が設定範囲（警報設定値 70Pa に対し、誤差を考慮した 65Pa 以上 75Pa 以下）に達した時に、警報表示灯及び警報音が作動すること。		良	立会
備考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。 ・立会検査で使用した検査用計器を別紙-22に示す。			

検 査 前 確 認 事 項

検査年月日：令和2年 8月 21日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査項目：性能検査（排気フィルタ）

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、 気体廃棄施設の設備のうち 気体廃棄設備のうち、 排気フィルタ（グローブボックスNo. FQG-19用）		
確 認 事 項	結 果	確 認 方 法	
(1) 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	良	記録	
(2) 必要な図面等が準備されていることを確認する。	良	記録	
備 考：			

性能検査（排気フィルタ）検査記録

検査年月日：令和2年8月31日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

検査範囲	プルトニウム燃料第三開発室のうち、 廃棄施設の位置、構造及び設備のうち、 気体廃棄施設の設備のうち 気体廃棄設備のうち、 排気フィルタ（グローブボックスNo. FQG-19用）		
判定基準	結果	検査方法	
排気フィルタの性能が、 $0.15\mu\text{m}$ 径の粒子に対して、99.97%以上の捕集効率を有すること。	良	記録	
備考： ・本検査で確認した申請者の記録等を別紙-23に示す。			

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年8月7日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

1) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
性能検査 (グローブボックス負 圧警報)	受信計(グローブ ボックス No. FQG-19 用)	4904131	0~-1kPa	±1.0%FS	R2年6月26 日	
					R3年6月25 日	

2) 本設計器以外の計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考	
					校正有効期限		
性能検査 (密閉構造)	漏れなし 容器	106-02	-	リーク率： 0.001vol%/h 以下	R元年12月 13日		
					R2年12月12 日		
	マノスタ ーゲージ	2956714	-0.2~+ 0.2kPa	±1.5%FS	R元年11月 22日	漏れなし容器 用	
					R2年11月21 日		
	マノスタ ーゲージ	3003716	0Pa~ 1000Pa	±0.63%FS	R2年1月21 日	グロー ブボッ クス用	
					R3年1月20 日		
	特殊ベッ クマン温 度計	6889	18.00~ 24.00℃		R元年11月 18日	漏れなし容器 用	
					R2年11月17 日		
					R元年11月 18日		漏れなし容器 用
					R2年11月17 日		
	7112	18.00~ 24.00℃		R2年1月7日	グロー ブボッ クス用		
				R3年1月6日			
	6553	22.00~ 28.00℃		R2年1月7日	グロー ブボッ クス用		
R3年1月6日							
ストップ ウォッチ	STYK-101	0秒~99時 間	時間精度： ±1s/d	R元年9月17 日			
				R2年9月16 日			

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
性能検査 (グローブボックス内温度上昇及びハロゲン化物消火設備)	精密型デジタル温度計	100168	0.00～ 200.00℃	本体： ±(0.05℃ +1digit) センサ： ±0.10℃	R元年12月 20日	
					令和2年12 月19日	

検査用計器一覧表

検査年月日：令和2年8月21日

検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

1) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
性能検査 (負圧維持)	受信計 (グローブボックス No. FQG-19 用)	4904131	0~-1kPa	±1.0%FS	R2年6月26日	
					R3年6月25日	

2) 本設計器以外の計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	

記 録 一 覧 表

検査年月日：令和2年8月6日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考
1	金属不純物分析設備の分光分析装置及びグローブボックスNo.FQG-19の設置並びにグローブボックスNo.FQG-01及び気体廃棄施設への接続に係る自主確認（検査）要領書（I）	CG-WI-01-R0203 R2. 6. 26	
2	金属不純物分析設備の分光分析装置及びグローブボックスNo.FQG-19の設置並びにグローブボックスNo.FQG-01及び気体廃棄施設への接続に係る自主確認（検査）成績書（I）	CG-WI-01-R0203 令和2年6月30日 令和2年7月1日 令和2年7月10日	
3	完成図書 金属不純物分析装置用グローブボックスの製作	JG-9614-26 2015年2月27日	
4	品質管理課エンジニアリングシート フェノール樹脂成形材料「スミコン」PM-9645の耐燃性について	2019（品管）-052 令和2年3月9日	
5	品質管理課エンジニアリングシート ポリカーボネート樹脂「タキロンポリカーボネートプレート」（PCMRS61600）の難燃性について	2019（品管）-051 令和2年3月9日	

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
6	プルトニウム燃料施設品質保証 検査及び試験管理要領書	Pu-FQ-05 R2. 7. 20	
7	校正証明書 ノギス	器物番号：19077073 2020年1月10日校正	
8	試験証明書 コンベックス	器物番号：001086 2020年1月6日校正	
9	校正成績表 ダイヤルキャリパ	No. : N001860 2020年4月24日校正	
10	検査成績書 漏れなし容器の校正作業	漏れなし容器の気密検査成績書 容器番号：106-02 検査日：令和1年12月13日 校正証明書（マノスターゲージ） 製造番号：2956714 2019年11月22日校正 比較検査成績書（特殊ベックマン温度計（18℃～24℃）） 器物番号：6889 2019年11月18日校正 比較検査成績書（特殊ベックマン温度計（22℃～28℃）） 器物番号：6549 2019年11月18日校正	

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
11	校正証明書 マノスターゲージ	器物番号：3003716 2020年1月21日校正	
12	検査成績書 特殊ベックマン温度計	18.00～24.00℃ 器物番号：7112 令和2年1月7日校正 22.00～28.00℃ 器物番号：6553 令和2年1月7日校正	
13	校正証明書 精密型デジタル温度計	器物番号：100168 2019年12月20日校正 器物番号：100184 2019年12月20日校正	
14	警報点検データシート 金属不純物分析設備 GB No.FQ G-19	器番：4904131 令和2年6月26日校正	
15	検査成績書 ストップウォッチ	管理番号：STYK-101 検査日：2019年9月17日	
16	プルトニウム燃料施設整備室エ ンジニアリングシート グローブボックス警報監視盤 のグローブボックス内温度及び 負圧の警報設定値について	28（整備）-016 平成28年11月24日	
17	プルトニウム燃料施設整備室エ ンジニアリングシート グローブボックス負圧及びグ ローブボックス内温度上昇警報 の精度管理について	29（整備）-028 平成30年1月23日	
	以下余白		

記 録 一 覧 表

検査年月日：令和2年8月31日
 検査場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 核燃料サイクル工学研究所プルトニウム燃料第三開発室

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
1	金属不純物分析設備の分光分析装置及びグローブボックスNo.FQG-19の設置並びにグローブボックスNo.FQG-01及び気体廃棄施設への接続に係る自主確認（検査）要領書（I）	CG-WI-01-R0203 R2. 6. 26	
2	金属不純物分析設備の分光分析装置及びグローブボックスNo.FQG-19の設置並びにグローブボックスNo.FQG-01及び気体廃棄施設への接続に係る自主確認（検査）成績書（I）	CG-WI-01-R0203 令和2年6月30日 令和2年7月1日 令和2年7月10日	
3	金属不純物分析設備の分光分析装置及びグローブボックスNo.FQG-19 の設置並びにグローブボックスNo.FQG-01 及び気体廃棄施設への接続に係る自主確認（検査）要領書（II）	CG-WI-00-R0204 R2. 7. 17	
4	金属不純物分析設備の分光分析装置及びグローブボックスNo.FQG-19 の設置並びにグローブボックスNo.FQG-01 及び気体廃棄施設への接続に係る自主確認（検査）成績書（II）	CG-WI-00-RR0204 令和2年8月25日	

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
5	フィルタ製品検査成績書（社内） 高性能及び中性能フィルタの購入	管理番号：28F03-Q07	
6	フィルタ及びビニルバッグの健全性の確認 GB系 FQG-19 フィルタ番号：213	確認日：2020.7.9	シリアル番号：HS 61218215
7	交換後のフィルタ取付け状態の確認 GB系 FQG-19 フィルタ番号：213	確認日：令和2年7月9日	シリアル番号：HS 61218215
8	フィルタ及びビニルバッグの健全性の確認 GB系 FQG-19 フィルタ番号：214	確認日：令和2年7月9日	シリアル番号：HS 61218300
9	交換後のフィルタ取付け状態の確認 GB系 FQG-19 BDD フィルタ番号：214	確認日：令和2年7月9日	シリアル番号：HS 61218300
10	警報点検データシート 金属不純物分析設備 GB No. FQG-19	器番：4904131 令和2年6月26日校正	
	以下余白		